学校番号	3032B

令和８年度　理科

教科	理科	科目	(学)能勢の生物 A	単位数	１単位	年次	３年次前期
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

能勢町は、大都市・大阪の近郊にありながら、日本の原風景である里山が広がり、豊かな生物多様性を育んでいます。能勢町の大自然をフィールドに生き物から様々なことを学ぶ授業です。
①能勢町の自然について
能勢町の自然について学びます。能勢町の豊かな環境に関する基本的な知識を習得します。
②能勢の生物について
能勢町に生息する生物の観察、調査を行います。それらの結果や生じた疑問をもとに更なる観察、調査を行い、生物に関する興味、関心を深めます。
③活動のまとめ
①　と②の活動をポスターなどにまとめます。その内容を発表するなどして、多くの人へ伝えます。

※授業ではプリントを使用するので、まとめるためのファイル（A4 判）を用意すること。
※能勢の生物 A・B ともに実習や実験を行います。A は教室外での実習が多く、B は教室での実験が多いです。

2　学習の到達目標

・能勢の自然や生物に関する基本的な知識を習得する。
・校内での生物調査を通して、身近な生き物への興味・関心を深める。
・観察、調査した内容を分かりやすくまとめる。
・科学的な見方や考え方を養い、探究する能力と態度を習得する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	能勢の自然環境や生物の特徴について理解し、基本的な知識を身につけている。 能勢の自然環境や生物の特徴に関する観察、実験などを行い、基本操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理する技能を身につけている。	能勢の自然環境や生物の特徴に関する観察、実験などを行い、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	能勢の自然環境や生物の特徴について関心をもち、積極的に観察や調査に取り組み、意欲的に探究しようとするとともに、日常や社会とのつながりを意識するなど、科学的な見方や考え方を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自然環境	・能勢の豊かな自然環境 ・自然環境と生物多様性の関係	a:能勢の豊かな自然環境について理解し、知識を身につけている。観察実習の中で適切な観察活動を行い、観測した事象を的確に記録、整理している。 b: 能勢の自然環境と生物多様性の関係について考察し、導き出した答えを適切に表現している。 c: 能勢の豊かな自然環境に関心を持ち、理解しようとする。	小テスト 実習記録	小テスト 活動のまとめと発表	実習記録 活動のまとめと発表
	生物多様性	・能勢の生物多様性の豊かさ ・生物の特徴 ・生物現象	a: 能勢の豊かな生物多様性と生物の特徴を理解し、知識を身につけている。観察実習の中で適切な観察活動を行い、観測した事象を的確に記録、整理している。 b:能勢の生物の特徴を考察し、導き出した答えを適切に表現している。 c: 能勢の豊かな生物多様性と生物の特徴に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	小テスト 実習記録	小テスト 活動のまとめと発表	実習記録 活動のまとめと発表
	里地里山の活用	・里地里山の活用方法 ・郷土と生活とのかかわり	a: 能勢の里地里山の現状を理解し、知識を身につけている。探究活動を行い、調査・考察した事象を的確に記録、整理している。 b: 里地里山の活用について考察し、導き出した考えを適切に表現している。 c: 能勢の生物多様性や里地里山の活用について関心を持ち、意欲的に活動しようとする。	小テスト 実習記録	小テスト 活動のまとめと発表	実習記録 活動のまとめと発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度